

## 【大項目毎の進捗状況、進捗状況に対する分析・評価及び今後の課題】

## 都留信用組合

大項目	17年4月～19年3月の進捗状況		19年3月までの進捗状況に対する分析・評価及び今後の課題(19年3月までの成果、今後の課題に対する対応方針等を含む)
		18年10月～19年3月の進捗状況	
① 事業再生・中小企業金融の円滑化	<p>■法人・個人事業主向けローンの実績は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オパールα 172件、1,876百万円</li> <li>・産業クラスター促進資金融資 4件、171百万円</li> <li>・ビジネスローンα 179件、4,419百万円</li> </ul>	<p>■18年12月5日に、創造技術開発支援プロジェクトの平成18年度第1回産学官交流会に、部店長25名が参加しました。</p>	<p>■事業性融資「オパールα」「ビジネスα」の残高は順調に推移しました。</p> <p>■「富士北麓・東部産学連携推進連絡会」の発足に伴う、山梨大学の講師による講演会につきましては、開催できませんでした。今後、開催に向けて努力してまいります。</p>
② 経営力の強化	<p>■不良債権比率・自己資本比率の数値目標に対する実績は、次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>i) 不良債権比率 13.05% (前年同期比 1.32ポイント改善)</li> <li>ii) 自己資本比率 7.90% (前年同期比▲0.11ポイント)</li> </ul>	<p>■不良債権比率・自己資本比率の数値目標に向けて取組みました。</p> <p>■18年11月15日より個人向け国債と投資信託の増強を本格推進しました。</p>	<p>■不良債権比率12%未満を数値目標として掲げて、全力で取組んでまいりましたが、大口貸出先の不良債権化等により目標は達成できませんでした。</p> <p>■自己資本比率8%台以上を数値目標として掲げて取組んでまいりましたが、不良債権処理を優先したことにより目標は達成できませんでした。</p> <p>■保険・投信・国債等の販売を積極的に展開してまいります。</p>
③ 地域の利用者の利便性向上	<p>■全組合員に対して実施したアンケート結果について、苦情・要望等を業務改善へ反映しました。アンケートは継続的に実施しております。</p>	<p>■苦情・要望等に基づき改善を図りました。</p>	<p>■アンケートの回収率が低いことから改善策を検討してまいります。</p> <p>■アンケートの内容の見直しを図ってまいります。</p> <p>■「女性モニター」制度を設立して、女性利用者の意見を踏まえ経営改善してまいります。</p>

(注)本紙1枚に簡潔にまとめて記載すること。